

令和7年度 事業計画書（案）

特定非営利活動法人 にじいろクレヨン

にじいろクレヨンの目指す姿

にじいろクレヨン理念：東日本大震災の被災地を、子どもたちとともに居場所づくりを通して心豊かなまちにします。

【ビジョン（実現したい社会）】

（我々が描く未来は）**みんなが安心して暮らす（過ごせる）社会（です）**

【ミッション（私たちの使命）】

（我々は）**継続的な居場所づくりをします**

【今年度の重点施策】

- 子どもたちが自分自身の力で居場所づくりを体現できる環境をつくる
- ①子ども自身が抱く思いや考えていることを気兼ねなく話すことや、表現活動のできる環境の整備。子どもが居場所づくり活動に参画できる仕組みの計画。
- ②多世代が関わる機会や、ボランティアの受け入れの仕組みを整え、地域社会全体として居場所づくり活動に参画しやすい環境の整備。

この法人は、1、「東日本大震災の被災児童支援の継続」2、「子どもを見守るコミュニティ作り」3、「子どもの健全育成に関する講座、ワークショップ・ネットワーク作りの企画・実施・運営およびそれらへの参加・協力」の3つを柱として豊かな地域の新しいカタチ（誰もが自分が自分らしく生きることのできる社会）の実現を目指し、豊かな場の体現、実践をしながら、市民とともに認め合う文化が地域で醸成されることを目的とする。

《 特定非営利活動に係る事業 》

●今年度の一週間の主な活動スケジュール

	月	火	水	木	金	土	日
午前	ハッピーマ ンデー	ひろば	ひろば	ひろば	※農 園	ひろ ば	※移 動型 プレ パ お絵 描き 教室 お絵 描き 教室 ※農 園プ レパ
午後	農園 ハッ ピー	農園 ひろ ば	ひろば	農園 ひろ ば	農園 ひろ ば	お絵描き教室	

※金曜午前 農園：月1回

※日曜午前 農園プレーパーク：月1回

※土曜午前 移動型プレーパーク：各月1回

1、「東日本大震災の被災児童支援の継続」

事業名	事業内容	事業回数	事業予定場所	従事者の人数	受領対象者の範囲及び人数
【ハッピーマンデープロジェクト】	【主な活動】 ・にじいろみんなの居場所プロジェクト 【使用助成金・補助金】 ・ハタチ基金	182回	にじいろ農園 にじいろひろば	9名	主として0歳～18歳未満の児童およびその保護者・近隣住民 大人：のべ1,000名 子ども：のべ2,000名 ボランティア：のべ100名
	【目標、定性目標、定量目標】 ・子どもたちが日常をいきいきと過ごしている状態 ・地域の大人がそれを温かく見守っている状態 ・子どもたちの記憶に残る原体験の機会の創出 子ども：原体験の提供、自己肯定感・自己有用感の向上（80名） 地域：見守る大人の増加（+20名）、場づくり回数182回				
	【前年度に出た課題】 ①信頼できる地域の大人の育成・関与の拡充 ・子どもたちは『話を聞いてほしい』という思いを抱えている一方で、それに応えられる大人の存在が地域に不足している。地域の大人が子どもとどう関わるかを学び、実践できるようにするためには、チャイルドファシリテーション等を学ぶ機会の拡充と、それが継続的に行われる仕組みづくりが必要である。				

	<p>②若年ボランティア（高校生・大学生）の継続的関与の支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高校生・大学生との交流は子どもたちにポジティブな影響を与えているが、彼らが安心して継続的に活動に参加できる体制はまだ十分とはいえない。役割の明確化、達成感のある関わり、学校・地域との連携など、心理的・実務的なサポート体制の強化が求められる。 <p>③家庭状況に配慮した活動の工夫と発信</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家庭の経済的負担を考慮した素材や活動内容へのニーズが高い。加えて、活動が家庭内でも再現・共有できるような工夫（例：家庭向け資料、動画教材、連絡帳的なフィードバック）を取り入れ、活動の波及効果を高めていくことが求められる。
--	--

事業名	事業内容	事業回数	事業予定場所	従事者の人数	受領対象者の範囲及び人数
【にじいろ農園：午後】	<p>【主な活動】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農園活動：午後 <p>【使用助成金・補助金】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ハタチ基金 	66回	にじいろ農園	10名	主として0歳～18歳未満の児童およびその保護者・近隣住民 大人：のべ300名 子ども：のべ300名 ボランティア：のべ100名
	<p>【目標、定性目標、定量目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・にじいろスタッフがいなくても地域の大人に「こうやりたい、こうしたい」が言える環境づくり。 ・子どもも大人も一緒に遊んだり、一緒に過ごしたり、お互いが顔を知っている状態を目指す。 ・子どもがいつでも大人に助けを求められる（ポロツと言える、話を聞いてくれる大人がいる）状態を目指す。 ・子どもも大人もやってみたいを大切にする場所、安心していられる場所をつくる。また、子どもたち自身がそのような場所だと理解している子ども10人。 ・地域の大人が子どもに自ら声をかける状態を目指す。6人 				
	<p>【前年度に出た課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもが来たいと思える場づくり ・学校との連携の中で農園活動の信頼をつくっていく。 ・町内会との連携の中で町内会に子どもや親をつなげていく。 ・高校生や大学生の参加や企画したイベントの実施につなげていく。 				

事業名	事業内容	事業回数	事業予定場所	従事者の人数	受領対象者の範囲及び人数
【移動型プレーパーク】	<p>【主な活動】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもの見守り活動 ・自然体験 <p>【使用助成金・補助金】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・石巻市移動型プレーパーク支援事業補助金 	12回	釜小学校 船の見える築山公園	2名	主として0歳～18歳未満の児童およびその保護者・近隣住民 大人：のべ100名 子ども：のべ150名 ボランティア：のべ30名
	<p>【目標、定性目標、定量目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちが安心してのびのびと遊べる場の提供 ・保護者や地域の大人との交流機会を創出 ・子どもたちの「やってみたい」を尊重した自由な遊びの支援 				

	【前年度に出た課題】 ・広報が足りなかった
--	---------------------------------

2、「子どもを見守るコミュニティ作り」

事業名	事業内容	事業回数	事業予定場所	従事者の人数	受領対象者の範囲及び人数
【にじいろ農園：午前】	【主な活動】 ・農園活動：午前 ・農園を活用した子どもを見守るコミュニティ作り活動 【使用助成金・補助金】 ・みやチャレ	50回	にじいろ農園 にじいろひろば	2名	主として0歳～18歳未満の児童およびその保護者・近隣住民 大人：のべ250名 子ども：のべ300名 ボランティア：のべ30名
	【目標、定性目標、定量目標】 ・農園やその周辺の空間を活用し、「自然とあいさつが生まれる場」をつくり出す。子どもたちが安心して過ごせる地域の見守りコミュニティを育み、大人や高校生を含む多世代が気軽に参加・交流できる環境づくりを目指す。 ・ボランティア参加者：年間のべ50名以上（うち高校生10名以上） ・子どもたちの参加延べ人数：300名以上 ・保護者の見守り協力：延べ50回以上				
	【前年度に出た課題】 ・季節にあわせた開催日、時間の設定 ・環境整備（草取り、看板の設置） ・スタッフ同士の連携 ・小学校との情報共有				

事業名	事業内容	事業回数	事業予定場所	従事者の人数	受領対象者の範囲及び人数
【農園カフェ】	【主な活動】 ・農園カフェ 【使用助成金・補助金】 ・みやチャレ ・心の復興	12回	にじいろ農園 復興住宅集会所	2名	主として0歳～18歳未満の児童およびその保護者・近隣住民 大人：のべ160名 子ども：のべ90名 ボランティア：のべ25名
	【目標、定性目標、定量目標】 ・地域住民が気軽に立ち寄れる居場所としての農園カフェを定着させる ・子どもから大人までが参加しやすく、安心して過ごせる空間づくり ・他団体との協力により活動の幅と支援の質を高める				
	【前年度に出た課題】 ・スタッフとの連携、共有 ・内容の工夫 ・開催日の調整 ・他団体との連携				

事業名	事業内容	事業回数	事業予定場所	従事者の人数	受領対象者の範囲及び人数
	主な活動】 子育て支援拠点事業 にじいろひろば事業 【使用助成金・補助金】 石巻市委託事業 石巻市心の復興事業	168回 (月14回)	にじいろひろば	4名	主として0歳～18歳未満の児童およびその保護者・近隣住民 大人:のべ1,200名 子ども:のべ1,200名 ボランティア:のべ14名
【にじいろひろば】	【目標、定性目標、定量目標】 【目標】 ・子どもの気持ちを尊重しサポートする。子どもの気持ちを代弁する。 ・地域で安心して子育てができる環境をつくる ・妊娠から出産、新生児、幼児期、学童期に生じる問題に切れ目のない支援をする 【定性目標】 ・子どもの意思を尊重することで、養育者が子どもの気持ちを理解し安心して子育てができるようになる。 ・地域住民、他団体との繋がりを持つことで安心して子育てができると感じられるようになる。 ・夕方や休日の開館を行なうことで切れ目のない支援を行なうことができる。 【定量目標】 ・他団体との交流 年4回 ・夕方(16時まで)の開館 月2回 ・休日の開館 年3回				
	【前年度に出た課題】 ・他団体と定期的に情報を共有する時間が設けられなかったことで、利用者さんへの情報提供に時間がかかった。スムーズな対応ができるように情報提供の機会を調節していく。 ・平日夕方や休日開館の要望が出てきているためそれに応えられるスタッフ体制を整えていく。				

3、「子どもの健全育成に関する講座、ワークショップ・ネットワーク作りの企画・実施・運営およびそれらへの参加・協力」

事業名	事業内容	事業回数	事業予定場所	従事者の人数	受領対象者の範囲及び人数
【お絵描き教室】	【主な活動】 ・春：野外スケッチ、花のカラーージュ ・夏：絵の具あそび、水のアート ・秋：葉っぱスタンプ、自然素材アート ・冬：紙版画、光と影の表現 ・年2回の作品展示&親子参加型イベント ・一人ひとりの『やりた	100回	あけぼの集会所 にじいろひろば 他3か所	4名	子ども会員及びその保護者・近隣住民・ボランティア会員 大人:のべ250名 子ども:のべ80名 ボランティア:のべ100名

	い』を尊重し、完成形に こだわらないサポート				
	【目標、定性目標、定量目標】 ・低年齢層の苦手意識 → 成功体験を重ねる小さなステップ制作を導入 ・学校教育の影響 → 結果より過程を褒める声かけを徹底 ・SNS 発信 → 月 1 回以上 Instagram/Facebook を更新、スタッフ持ち回り制を導入 【定性目標】 ・アートを楽しむ仲間が生まれる ・誰もが自由に創作できる空間と理解される 【定量目標】 ・子ども 30 人・大人 50 人が『比べられない安心な場』と実感 ・SNS フォロワー数月平均 10%増加を目指す				
	【前年度に出た課題】 ・本人のアートや制作活動への苦手意識、またその低年齢化。 ・美術、図工などの学校教育の評価制度の弊害。 ・ホームページの更新や、Instagram、facebook、Twitter などの SNS 媒体の情報発信を定期的にアップデートする必要がある。				

事業名	事業内容	事業回数	事業予定場所	従事者の人数	受領対象者の範囲及び人数
【講演会活動】	【主な活動】 ・団体事業普及を目的した講演会活動 【使用助成金・補助金】 ・自主事業	10 回	市内高校、大学など	2 名	主として 0 歳～18 歳未満の児童およびその保護者・近隣住民のべ 300 名
	【目標、定性目標、定量目標】 ・講演を聞いてボランティア参加や見学に来る人数 40 人				
	【前年度に出た課題】 ・総会資料の事業計画書や事業報告書を活用し、最新の現状に合わせた講演会内容へブラッシュアップ。				

事業名	事業内容	事業回数	事業予定場所	従事者の人数	受領対象者の範囲及び人数
【研修会】	【主な活動】 【使用助成金・補助金】 ・ハタチ基金 ・自主事業	2 回	・にじいろひろば ・市内施設など	10 名	主として 0 歳～18 歳未満の児童およびその保護者・近隣住民 大人:のべ 160 名 子ども:のべ 90 名 ボランティア:のべ 25 名
	【目標、定性目標、定量目標】 ・年 2 回研修会、勉強会の開催				
	【前年度に出た課題】 ・子どもの権利や地域に関することを知ることや考える機会として、スタッフだけでなく、他団体支援者や、養育者などへ広く参加を促す。				

事業名	事業内容	事業回数	事業予定場所	従事者の人数	受領対象者の範囲及び人数
【協働・連携事業】	【主な活動】 ・団体事業普及を目的としたネットワークづくり活動 【使用助成金・補助金】 ・自主事業	20回	・石巻市役所など	2名	主として0歳～18歳未満の児童およびその保護者・近隣住民 大人:のべ160名 子ども:のべ90名 ボランティア:のべ25名
	【目標、定性目標、定量目標】 ・ネットワーク会議などへの参加20回				
	【前年度に出た課題】 ・代表以外のスタッフも参加し、他団体との関係性を深め、活動での情報交換や連携の機会としたい				

事業名	事業内容	事業回数	事業予定場所	従事者の人数	受領対象者の範囲及び人数
【ポジティブ・ディシプリン®プログラム(PD)】	【主な活動】 ・ポジティブ・ディシプリン®標準プログラムの実施 ・ポジティブ・ディシプリン®支援者向け2.5時間短縮プログラムの実施 ・参加者交流会の開催 【使用助成金・補助金】 ・石巻市親子関係形成支援事業 ・赤い羽根共同募金(みやぎチャレンジプロジェクト)	20回 (内訳9回連続プログラム×2クール18回、支援者向けプログラム×1回、交流会1回)	石巻市ささえあいセンター にじいろひろば	8名	主として0歳～18歳未満の児童の養育者・児童・近隣住民・ボランティア会員 大人:のべ250名 子ども:のべ80名 ボランティアのべ:100名
	【目標】 ・(プログラム参加者の)子育ての不安の軽減(孤立・不安解消) ・(プログラム参加者が)自分の子ども以外の存在を気に掛ける人材になる ・誰もが「子どもの権利」や「ポジティブ・ディシプリン®」を知っている社会状況を目指し、地域の子育て環境、子ども視点について大人が考える機会をつくる。 【定性】 ・プログラム参加者が、講座終了後も孤立することなく子育てについて安心して話せる環境をつくる。 ・プログラム参加者が、自身の子育てを支えてもらった経験から、自身も他の養育者、子どもを支える側の人材となり、子育ての支え合いが循環する仕組みをつくる。 ・主に子育て支援者が「子どもの権利」周知の重要性を理解できるようになる。 【定量】 ・プログラム全9回 年間2クール実施、支援者向けプログラム年間1回の実施(支援者対				

	<p>象 2.5 時間版プログラム)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・参加者交流会を年間 1 回の実施。 ・プログラム参加者効果測定アンケートを実施し、行動変容を測定する。参加者の 80%以上が子育てに対する安心感が増す。 ・プログラム参加者が他事業の活動に参加する（農園やひろば活動など）・・・5 名
	<p>【前年度に出た課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「子どもの権利」「ポジティブ・ディシプリン®」を知っている人が少ない社会状況 ・プログラム参加につながる周知の不足 ・広報協力や、企業寄付など資金面につながる行政や他団体との連携体制確立